

# ガタガタ通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No. 48

2011・暁の号

発行  
NPO法人  
水辺に遊ぶ会

大分県中津市中央町2-8-35  
mizube1999@yahoo.co.jp



## 大新田は宝の海だ。昔も、今も。

### 水辺に遊ぶ会「囲い刺し網体験隊」は見た！

▼8月21日、初めての体験漁に出た。既に雨で日程を変更したにもかかわらず、また朝から雨模様。主催者としては参加者の安全が第一なのである。どうするか海の達人の漁師さんたちと最善策を考えた。「前線がもうじき通過する。そうしたら雨が小雨になる。海はべた凧だから心配ない。田尻港に行こう！」から心配ない。田尻港に到着すると…多く雨に濡れる可能性なども含め参加の移動時間が少なくてすむ田尻港に移動した。

▼さて、田尻港に到着すると…多くの人が断念されるかと思いきや、ほぼ全員が残つていらつしゃった。(みんな元気である)漁師さんの言葉通り、そしてこつそり携帯で見ていたリアルタイムレーダーの予測通り、雨が上がつたのである。いやはや、やつぱ漁師さんはスゴイ。

「さあ、漁場へ行こう！」

目指す大新田は田尻港からは船でわずか5分。魚の群れを探して網を入れるに違いない。どうやら彼らには天然のお天気運に違いない。

魚の群れをぐるんと網で囲んだら、船べりをトントンたたく。音に驚いた魚が逃げようとして網にかかると仕組みだ。さあ、網をあげると

▼さて、田尻港に到着すると…多くの人が断念されるかと思いきや、ほぼ全員が残つていらつしゃった。(みんな元気である)漁師さんの言葉通り、そしてこつそり携帯で見ていたリアルタイムレーダーの予測通り、雨が上がつたのである。いやはや、やつぱ漁師さんはスゴイ。

「さあ、漁場へ行こう！」

目指す大新田は田尻港からは船でわずか5分。魚の群れを探して網を入れるに違いない。どうやら彼らには天然のお天気運に違いない。

魚の群れをぐるんと網で囲んだら、船べりをトントンたたく。音に驚いた魚が逃げようとして網にかかると仕組みだ。さあ、網をあげると

▼さて、田尻港に到着すると…多くの人が断念されるかと思いきや、ほぼ全員が残つていらつしゃった。(みんな元気である)漁師さんの言葉通り、そしてこつそり携帯で見ていたリアルタイムレーダーの予測通り、雨が上がつたのである。いやはや、やつぱ漁師さんはスゴイ。

「さあ、漁場へ行こう！」

目指す大新田は田尻港からは船でわずか5分。魚の群れを探して網を入れるに違いない。どうやら彼らには天然のお天気運に違いない。

魚の群れをぐるんと網で囲んだら、船べりをトントンたつく。音に驚いた魚が逃げようとして網にかかると仕組みだ。さあ、網をあげると



▼さて、来年も囲い刺し網やりますよ。そして、中津干潟で育ったお魚を美味しく食べてもらうためのお料理教室も絶賛開催中。

大切な場所を守っていくためには、たくさん的人にどんなに素敵な場所を知つてもらって、大好きになつてもらわないといけないからね。これからも囲い刺し網体験に期待あれ！

▼さて、来年も囲い刺し網やりますよ。そして、中津干潟で育ったお魚を美味しく食べてもらうためのお料理教室も絶賛開催中。

大切な場所を守っていくためには、たくさん的人にどんなに素敵な場所を知つてもらって、大好きになつてもらわないといけないからね。これからも囲い刺し網体験に期待あれ！

■活動報告(2011.7.1~2011.9.30)

7. 1 三郷小学校6年山川海の学習講師

7. 2 香々地青少年の家生物観察講師

7. 4 和田小学校4年干潟観察講師

7. 5 調査打ち合わせ

7. 6 ガタガタ通信印刷・発送

7. 9 囲い刺し網漁予行演習

7. 13 中津市生涯学習大学講師

7. 14 環境・生態系保全事業講習会参加

7. 16 韓国ムアン干潟保全団体干潟案内舞手川他測量調査

7. 20 小さなお魚お料理教室開催

7. 28 三百間海岸・舞手川河口干潟調査

7. 29 日田市立博物館干潟観察会講師

7. 30 夏休みひがた観察会開催

7. 31 干潟測量調査

8. 1 大分県河川課川づくりコンペ出席

8. 5 囲い刺し網体験漁打ち合わせ

8. 7 囲い刺し網体験漁台風のため中止

8. 18 濱戸内海研究フォーラム発表

8. 20 中津市親子キャンプ講師

8. 21 囲い刺し網体験漁開催

8. 23 県立歴史博物館ガブトガニ標本貸出

8. 26 大分大学永野研究室干潟学習講師

8. 28 山移川で魚とり開催

8. 29 アカテガニ産卵観察会開催

9. 4 大新田海岸清掃・漂着物調査

9. 7 調査打ち合わせ・九州地方整備局へ

9. 10 香々地青少年の家生物観察講師

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向性」開催協力と発表

～11 秋のシギチドリ調査

協力:大阪南港グループ・福岡湿地ネットワーク

9. 16 中津港分級実証実験工事見学会参加

9. 19 東京農大農山村センターヒアリング

9. 22 みんなの福祉祭り実行委員会出席

9. 27 漁船輸送に関する打ち合わせ

9. 29～30 日本海洋学会シンポジウム「2012年海洋保護区国際ネットワーク形成にむけた日本の方向

**海は広い。すごく広い。なのにとってもせまい。自分たちにできることが、あまりにも少なくてもどかしい思いばかりがのる今年の夏でした。**

太平洋に浮かぶミッドウェー環礁とコアホウドリ。水辺に遊ぶ会会員さんなら、この小さな島と世界最大の海鳥の名前が出たら、何の話かわかるだろう。6月、調査＆ボランティアでこの地に立ったJ-EAN 小島あずささんのレポートをご本人の許可をいただき抜粋して紹介したい。度々中津にも来ていただき、様々な面でご指導いただいている小島さんは、日本の海岸清掃や漂着ごみ問題の第一人者であり、私たちの大センパイなのである。

▼北西ハワイの海域は、大量の漂流物が集まる「北西太平洋ごみベルト地帯」と呼ばれ、プラスチックごみによる海洋汚染のホットスポットとして注目を集めている。この地域で繁殖するコアホウドリやハワイアンモンクシール（アザラシ）など、ごみの誤食や絡まりの被害が生じている。

▼さて、船を送る先としてご縁を結んだ先は、岩手県釜石市箱崎町。震災直後、コンクリートの建物の上に大きな漁船が乗つかった光景を写真や映像でよく見かけた大槌町と釜石市の真ん中当たりにあるリアス式の小さな半島だ。ここは小さな漁村がいくつか点在し、ワカメの養殖と定置網を行つてているそうだ。震災後、動く船は1隻しかなく、修理して乗れるようになった船がもう1隻、そして少し前に長崎から送られた定置網用の船が1隻。この船に漁師さんたちみんなで乗り合わせて作業をしているという。春に予定していたワカメの収穫は震災でできず、この秋に種付けができるないと来シーズンも収穫できないため、物資のない中、漁師さんたちは力を合わせて作業を続けているのだそうだ。

そして、この地は2年前、救命救急講座の講師をしてくれた「ヒゲさん」がブルースーリズムなどでご縁のある場所でもある。以前より、山と海のボランティアさんが漁場の整備やワカメ養殖のお手伝いに入っている場所のお母ちゃんたちのネットワークもあった場所だ。そう、我々水辺に遊び会が目指す想いと共に通の部分が多いことも、ご縁を結ぼうと思つた理由のひとつなのだ。

## 御礼申し上げます

### 岩手県釜石東部漁協にお送りした支援物資

漁船 1隻・船外機 2基  
(ご提供:掛野繁明様)

漁船 2隻・船外機 2基  
発電機 9基  
(ご提供:株式会社菅組様)

チーンソー1式  
(ご提供:有田道雄様)

チーンソー替刃 6本  
刃研ぎ用具 2組・さび止め  
(水辺に遊ぶ会より)

その他支援物資(焼酎ほか)  
(水辺に遊ぶ会会員様より)

現地までの輸送  
(東洋建設株式会社様)

☆会員さんより寄付も  
いただきました。

### 宮城県女川漁協出島支所にお送りした支援物資

会員のHさんよりご寄付を  
いただき、箱めがねを2個  
寄付いたしました。

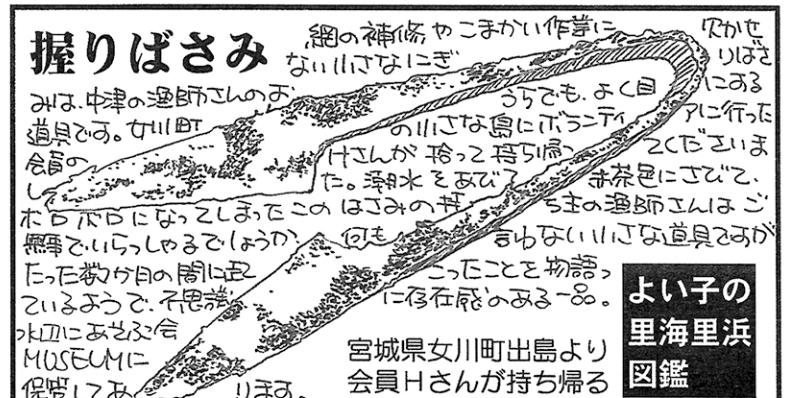
●宮城や岩手の海域のエゾアワビは産卵期が8月後半から10月で、11月から漁獲が解禁されるそうです。  
箱メガネはサッパ舟から海の中のアワビを見るために使います。

▼10月の始めの晴天の土曜日、心配そうに見つめるKさんの傍らで、K兄さんをリーダーに、水辺に遊ぶ会の面々が船にお化粧を施した。フジツボを落とし水洗いした船に、傷ん底塗料を塗つていく。そして、古いエンジンを外し（これが素人にはなかなかの困難な仕事だった）、ピカピカのエンジンを乗せると、すっかり美人さんに。Kさんは「東北に嫁入りして頑張って働いて欲しい」と。宇佐市の企業さんからご提供いただいた船2隻と、発電機9基、大分市チーンソー1式、水辺に遊ぶ会と会員さんからの支援物資と願いを込めた輸送は大分市の企業さんがご協力くださった。「尽力くださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいだ。

▼3日かけてヒゲさんと共に箱崎に到着した漁船と物資は、箱崎東部漁協の皆さんに手渡された。船はすぐ協に海に降ろされて、あれに使おうこれに使おうと、早速、活用する先を検討されたようだ。また、発電機やチーンソーも引っ張りだこだつたとか。お酒やカボスなどの差し入れも喜ばれた様子。ああ、喜んでもらつて本当によかった。ヒゲさん、遠路届けてくださつてありがとう。

▼さてさて、これで終わつたわけではない。復興には長い時間がかかるだろう。現地へのボランティアーや人の交流、生産物の販売など、これからも、私たちにできる支援を考えている。たくさんのこととはできないけれど、息長く、現地の人々とつながる活動を続けていきたいと思っている。

だつて、海はつながつてゐるんだから。



などにより一般観光客の訪問は困難な場所となつていて。今回のツアーでは、サンド島とイースタン島の自然を観察し、島内の「そこかしこにある」コアホウドリやクロアシアホウドリのヒナの死体を解剖し、体内に誤食したプラスチックなどが残つてないか調べるとともに、国際海岸クリーンアップのデータカードを使つてゴミ調査とクリーンアップをされたそうだ。

▼今回初めてご自身の目で確かめて驚かれたのは、島内に無数のプラスチックごみが散乱していること。島のいたるところにキップ類やライター、カキの養殖器具などが散乱している。島内で保護活動をしているFWSのスタッフによると、「多くのヒナの死骸を解剖したが、99.9%プラスチックを飲み込んでいたヒナは巣立ち前に身体を軽くするため体内に残つていて物を吐き出しながら健康な状態でないと吐き出せない場合がある。島の中のプラスチックごみは、死骸の中に残つていたごみか、ヒナが吐き出したごみのどちらかで、つまり鳥が海から持つてきたもの」

▼今回初めてご自身の目で確かめて驚かれたのは、島内に無数のプラスチックごみが散乱していること。島のいたるところにキップ類やライター、カキの養殖器具などが散乱している。島内で保護活動をしているFWSのスタッフによると、「多くのヒナの死骸を解剖したが、99.9%プラスチックを飲み込んでいたヒナは巣立ち前に身体を軽くするため体内に残つていて物を吐き出しながら健康な状態でないと吐き出せない場合がある。島の中のプラスチックごみは、死骸の中に残つていたごみか、ヒナが吐き出したごみのどちらかで、つまり鳥が海から持つてきたもの」

▼「美しい海をこどもたちへ」22号（一般社団法人J-EAN発行）より抜粋させていただきました。

夜の11時半過ぎにミッドウェーにも到着。最大で1.5mの津波が来て、サンド島は2割、イースタン島は6割が冠水し、コアホウドリなどの繁殖地に打撃をあたえ、11万羽のヒナが命を落とした。震災によって海へと流れ出した多くのものが漂流物となり、ミッドウェー周辺には1年後にごみの回収や、外来植物の除去など生態系保全のための活動が行われているが、日常的に漂着するものだけでも対応が大変なのに、その何年分にも相当する量が漂着する可能性について大変心配しているそうだ。

▼「美しい海をこどもたちへ」22号（一般社団法人J-EAN発行）より抜粋させていただきました。

3月11日におきた大震災。津波は夜の11時半過ぎにミッドウェーにも到着。最大で1.5mの津波が来て、サンド島は2割、イースタン島は6割が冠水し、コアホウドリなどの繁殖地に打撃をあたえ、11万羽のヒナが命を落とした。震災によって海へと流れ出した多くのものが漂流物となり、ミッドウェー周辺には1年後にごみの回収や、外来植物の除去など生態系保全のための活動が行われているが、日常的に漂着するものだけでも対応が大変なのに、その何年分にも相当する量が漂着する可能性について大変心配しているそうだ。

3月11日におきた大震災。津波は夜の11時半過ぎにミッドウェーにも到着。最大で1.5mの津波が来て、サンド島は2割、イースタン島は6割が冠水し、コアホウドリなどの繁殖地に打撃をあたえ、11万羽のヒナが命を落とした。震災によって海へと流れ出した多くのものが漂流物となり、ミッドウェー周辺には1年後にごみの回収や、外来植物の除去など生態系保全のための活動が行われているが、日常的に漂着するものだけでも対応が大変なのに、その何年分にも相当する量が漂着する可能性について大変心配しているそうだ。

○おしらせ○  
12月3日(土)に  
小島あずささんを  
お招きして、海洋  
ごみ問題についての  
学習会を行います。  
詳細は同封の案内を  
ご参照ください。

